

スピリッツ

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校



インターンシップ結団式

久慈市へフェイスシールド寄贈

10月12日(月)に電子機械科3年生の菱事誠司さん、成田陽音さん、三浦蒼一郎さん、松葉智輝さん、四役祐人さんの5人は、久慈市に新型コロナウイルス感染症防止に役立ててほしいと3Dプリンターで製作したフェイスシールド30個を寄贈しました。久慈市の遠藤 譲一市長から「学習している技術を活用しての贈り物に感謝します。新型コロナウイルスのみならずインフルエンザの流行時期にも活用したい。」と感謝のお言葉をいただきました。この活動が地域の感染防止対策の一助になることを期待します。



1年生 野田村の伝統産業にふれる

10月14日(水)に1年生20名は、野田村特産である「のだ塩」を通して、地域産業を理解する体験学習に取り組みました。生徒たちは、同村の「のだ塩工房」を訪れ、支配人の外館則男様から塩ができるまでの製造工程やその歴史について詳しく説明を受けました。



また、塩作りにも挑戦しました。4倍に濃縮された海水をフライパンで煮詰め、にがり成分を除き再び火をかけ出来上がりです。実際の「のだ塩」の風味とはなりませんが、塩ができるまでの工程を体験できたことで野田村の伝統産業にふれ、更には地域理解にも繋がったと思います。

総合防災訓練

10月6日(火)に総合防災訓練が行われました。今回は、校舎内での火災を想定した訓練でした。目標とする避難時間を3分30秒としていましたが、2分58秒と大幅に短縮するなど防災意識が高い訓練となりました。その後、消火訓練、降下訓練やスモーク体験を行いました。災害はいつ来るか分かりません。どんな状況でも常に安全に避難するために日頃から防災に対する危機意識をもった生活を心がけてください。



校内の感染防止が充実しました

新型コロナウイルス感染症対策に係る整備が県の予算で充実しました。整備されたものは、自動消毒液噴霧器ハンドソープディスペンサー、扇風機各教室2台、非接触型体温計各教室1台等です。整備されたものを有効活用するためには、一人一人が感染防止に対する意識を高めることが大切です。各自が常に手洗い、マスク着用を心がけてください。全校生徒が安心して学校生活を送れるよう、これからも気をつけて生活していきましょう。

